

作成 2021年3月29日
摂津市議会議員 松本暁彦

令和3年第1回定例会代表質問 ～本会議3日目 2021年3月9日～
議事録（抜粋）

（自民党・市民の会の光好議員が会派を代表して質問。内容は会派で検討したものである。）

5-2 中学校給食の取り組みについて

質問の背景：2020年12月議会において、教育委員会は中学校給食をこれまでのデリバリー選択制方式から、全員喫食ができる給食センター方式を検討すると表明した。それを踏まえ、教育委員会で議論が交わされ、また令和3年度において具体的な取り組みが為されるということで、その確認が求められる。

質疑概要：教育委員会は令和3年度に中学校給食の基本方針を策定し、全員喫食を目指すことを確定した。その為の給食センター設置の実現可能性を検証することと、センター設置は時間を要することから、現在実施のデリバリー選択制方式においても生徒目線に立った工夫を行い、喫食率を向上させることについて議論を行った。

○光好議員

5-2 中学校給食の取り組みについてですが、当該事業は、親子のコミュニケーションや食育の観点も考慮しつつ、子供たちの為に、より良い形で取り組む必要があります。改めて、中学校給食の取り組みについて、お考えをお聞かせ下さい。

（略※）

○箸尾谷教育長

中学校給食の今後の取り組みについてでございます。

教育委員会といたしまして、令和3年第1回教育委員会定例会において、中学校給食の今後のあり方についての基本方針を策定したところです。この基本方針の中では、「全員喫食の実施」、「安全で安心な学校給食の提供」、「食育の推進」、「施設整備の実施」の4つの方針を謳っており、本市の子供たちに、より良い中学校給食を提供するため、今後の具体的な検討に取り組んで参ります。

また令和3年度においては、先程の方針にある施設整備の実施に向け、全員喫食の実施に向けた給食センター方式の実現可能性を検証すべく調査を実施して参りたいと考えております。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

(略※)

○光好議員

中学校給食の取り組みについてですが、全員喫食の実現に向けた給食センター方式での可能性を調査して行くと理解しました。是非、実現に向けて取り組まれるよう、要望致します。

なお、センター方式においては、施設の有効利用の観点から食育を学べるコミュニティ機能の併設、また災害時には炊き出しができるなどの防災機能を有した複合型の給食センターを考慮されるよう、併せて要望致します。

さて、将来に向けた取り組みは勿論のこと、今の子供たちの為にも更なる工夫・改善は必要です。そこで、デリバリー選択制方式の現状と今後についてどうお考えかお聞かせ下さい。

(略※)

○北野教育次長

デリバリー選択制方式の給食の現状と今後についてのご質問にお答えいたします。

現在、デリバリー選択制方式で実施しております中学校給食でございますが、2学期終了時点での喫食率は10食無料キャンペーンの効果もあり、5.6%と昨年と比べて増加いたしております。しかしながら、目標喫食率の10%には届いておらず、依然として低迷が続いております。この現状を打破すべく、中学校給食の今後のあり方について基本方針を策定したところでございます。

全員喫食方式の実施には時間を要することから、現在のデリバリー選択制方式においても、引き続き喫食率向上に向けた取り組みを行って参ります。一例といたしましては、令和3年度より、毎週水曜日に牛乳に変えて乳酸菌飲料の提供を行うことや、生徒に人気のある献立の提供回数を増やすことなど、成長期に必要な栄養価の摂取範囲内で、より良い中学校給食を提供して参ります。

(略※)

○光好議員

中学校給食の取り組みについてですが、デリバリー選択制方式の改善への取り組みについて理解しました。会派として子供たち目線に立った改善の取り組みを要望しており、具体化されたこと評価致します。これに関しては今回の施策だけにとどまらず、継続して改善することが重要です。

是非、健都との連携も含め、今の子供たち、そして将来の子供たちの為に、より良

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

い中学校給食に鋭意取り組まれるよう、要望致します。

(音声データ等より作成)

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

○その他、給食センターの費用等について（他会派の質問より抜粋）

- ・ 建設コストは他市事例では4,000食提供可能な施設で建設費20億円（国2,8億円、地方債、一般財源3億9千万円）となっている。
- ・ スケジュールは事業着手から6年後の開所・運営を予定。まずは用地選定から始める。

～ 2021年3月11日 文教上下水道委員会 （所管課答弁抜粋） ～

○給食施設調査について

給食施設調査委託料の内容について、先日、第1回教育委員会定例会におきまして、中学校給食のあり方における基本方針を定めまして、その後、文教上下水道常任委員協議会も開催いただいたところでございますけれども、この基本方針の中でもうたっておりますように、教育委員会といたしましては、中学校給食の全員喫食を、給食センター方式において実施したいと考えております。

給食調査、給食施設調査委託の内容といたしましては、給食センターの建設候補地をまず数か所、選定する必要がございます。選定後に、その土地で給食センターを建設する場合の問題点を確認するというものでございます。

確認した問題点が解決可能なものであるのか、不可能なものであるのか。また解決できるとすれば、どのような対策を行えばいいのかというところを調査いたします。

現在、考えております問題点といたしましては、例えば道路の幅、トラック配送で通りますので、道路幅であったり、におい、臭気であったり、騒音についてなどが問題点として出てくるのではないかとこのように考えております。

委託のスケジュールにつきましては、委託に入る前に、まず調査をいたします土地について、教育委員会及び庁内関係各課との調整を行う必要がございます。その後に調査委託のほうに入ってまいりたいというふうに考えております。

契約期間といたしましては、粗々ではございますけれども、半年程度と考えております。その調査結果にもよるところではございますけれども、次年度の予算要求につなげてまいりたいと考えておりますので、夏までには契約を締結したいというふうに考えております。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○センター方式でのアレルギー対応について

今後の中学校給食について、センター方式ということであれば、小学校のようにアレルギー対応がしっかりとできるのかどうかというお問い合わせに対してでございますけれども、現在、教育委員会といたしまして、第一として考えております給食センター方式のメリットでございますけれども、1か所で大量調理ができスケールメリットが働くという点もでございますけれども、最も大きなものとして、衛生管理及びアレルギー対応の徹底を図ることができるということが挙げられます。

具体的に申し上げますと、アレルギーの専用調理室というものを通常の給食センターでは設けるというのが通例になっておりまして、そういったアレルギー専用調理室で調理することによって、現在よりもより厳密な対応が図れるのではないかとこのように考えております。

○中学校給食の他市の状況について

学校給食の他市状況についてのお問い合わせに対して、ご答弁申し上げます。

本市と同様のデリバリー選択方式を取っておりまして、なおかつ、本市と同様の1食単価で契約している他市の状況につきましてでございますけれども、府内で4市ございます。この4市が吹田市、八尾市、羽曳野市、豊中市となっております。それぞれの単価についてでございますが、吹田市が1食当たり290円、八尾市が1食当たり441円、羽曳野市が616円、豊中市が喫食率にもよりますけれども、9%未満であれば300円というふうになっております。

この他市状況を見ますと、確かに委員がおっしゃられますように、新型コロナウイルス感染症が流行後という、タイミングが悪かったというところもあるかとは思いますが、自治体の人口規模に比例をしております、やはり1日当たりの食数が1食当たり単価に多分に影響しているのではないかとこのように考えております。

(令和3年度の摂津市の1食あたりの単価1,159円、平成27年は569円)

○デリバリー選択制方式での業者委託について

選定に関しましては、プロポーザルを実施して選定を行いました。大阪府近隣で、デリバリー給食に対応している業者が7者ございます。その7者全てにお声がけをさせていただきました。

また、摂津市に登録をされている給食業者全てで約40者ございましたけれども、全ての業者に電話とファクスでご案内、お声がけのほうをさせていただいたところでございます。

また、債務負担を組むに当たりまして、業者のほうから見積りを徴しまして、見積りは2者から取ることができました。

ですので、教育政策課といたしましては、最低2者の応札があるというふうに見込んでおったところでございます。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○令和3年度の喫食率向上への取り組みについて

まず、喫食率についての推移でございますけれども、令和元年度終了時点は5.0%となっております。令和2年度の、今年度の2学期終了時点では、5.6%というふうに、若干増加をしております。

これまで様々な取り組みを行ってまいりまして、毎年度、毎年度、僅かではあるんですけども、喫食率としては上昇しているところでございます。

令和3年度の取り組みについてなんですけれども、毎週水曜日を乳酸菌飲料の日といたしまして、牛乳に代わって乳酸菌飲料の提供をしたり、あと必要な摂取栄養価からはみ出さない範囲で、子どもたちの好む献立、例えばカレーであったりとかハンバーグであったり唐揚げであったりといった献立の提供回数をふやしていきたいというふうに考えているところでございます。

<代表質問・項目一覧>

- 1 市民が元気に活動するまちづくりについて
 - (1) 地域コミュニティの活性化について
 - (2) シティプロモーションの推進について
- 2 みんなが安全に快適に暮らせるまちづくりについて
 - (1) 鳥飼まちづくりについて
 - (2) 都市基盤整備について
 - (3) 道路ネットワークの向上について
 - (4) 市民を支える上下水道について
 - (5) 河川防災ステーションの取り組みについて
 - (6) 防災・防犯への取り組みについて
 - (7) 消防・救急救助施策について
- 3 みどりうるおう環境を大切にすまちづくりについて
 - (1) 環境問題について
 - (2) 広域連携などのゴミ処理について
- 4 暮らしにやさしく笑顔があふれるまちづくりについて
 - (1) 新型コロナウイルス感染症対策について
 - (2) 健康寿命延伸の取り組みについて
 - (3) 地域福祉施策について
 - (4) 子育て支援について
- 5 誰もが学び、成長できるまちづくりについて
 - (1) 児童・生徒の学力向上について
 - (2) 中学校給食の取り組みについて**
 - (3) 教育環境の改善について
 - (4) スポーツ環境の充実について
- 6 活力ある産業のまちづくりについて
 - (1) ビジネスサポートセンターについて
 - (2) 中小企業支援施策について
- 7 計画を実現する行政経営について
 - (1) 持続可能な行政経営について
 - (2) 人事施策について
 - (3) 横断的な政策課題への対応について

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]